

衛殿の御妻女、天晴れ、大義は親を滅すと申す、この程の  
 災難が、留守の宅に起らふとは、かねて覺悟の友千代どの、忠  
 孝兩つながら全からずと、別れに臨んで、當山で屍を晒すは面白か  
 らふ、既に餘命も安場のお息女的一件、一家の菩提を吊ひ申さ  
 らず、これより日本全國に脚して、御生書の次第を痛く思ひませ  
 さん、合せ、には友千代殿にも遊遊い、今更ら口惜く思ひませ  
 う、仕合せ、何かと悴がため、御遺言もござらぬか、里申し残す  
 言葉、たゞ何事も、端座の目、南無妙法蓮華經と唱ふる聲もいどか  
 ざいます、ごさい、に、弱り、は、遂に、敢て、果て、ました、其處  
 ず、か、次、第、は、この、事、を、村、の、墓、地、へ、葬、り、ま、し、て、家、財、は、出、入、の、者、  
 なく、船、山、長、老、は、遺、骸、は、山、麓、の、墓、地、へ、葬、り、ま、し、て、家、財、は、出、入、の、者、

人へ、これぞ飯田山常樂寺の長老、船山和尚でございます、まづ兩  
 御覽の通り、不義の報ひ、生親の縁、死に、行きます、その身に  
 も、報ひませう、役目、何事、も、宿生、の、因、縁、死、に、行、き、ま、す、  
 の、始、末、は、千、代、殿、へ、お、出、逢、ひ、の、節、が、一、も、出、立、さ、り、午、御、兄、  
 弟、様、友、代、へ、お、出、逢、ひ、の、節、が、一、も、出、立、さ、り、午、御、兄、  
 う、一、人、で、あ、ら、な、さ、れ、ま、す、君、命、に、よ、つ、て、の、討、手、ち、や、何  
 に、遠、慮、不、義、密、通、は、枝、葉、お、や、な、い、か、船、山、和、尚、の、時、の、成、行、な、ら、ん、  
 舞、は、ば、残、る、幹、の、枝、葉、は、切、つ、て、仕  
 舞、は、ば、残、る、幹、の、枝、葉、は、切、つ、て、仕  
 静、和、尚、の、言、葉、何、れ、は、再、會、の、期、も、ご、ざ、ら、ふ、さ、ら、ば、ち、や、船、お  
 静、和、尚、の、言、葉、何、れ、は、再、會、の、期、も、ご、ざ、ら、ふ、さ、ら、ば、ち、や、船、お  
 よ、つ、て、御、發、切、羽、詰、つ、て、の、こ、の、自、害、健、氣、で、ご、ざ、る、流、石、は、覺、兵、



大正三年六月七日印刷  
大正三年六月十二日發行

定價金三十五錢

樋口隆文館

營業案内

△樋口隆文館は主として小説の出版に及び其御賣を専業と致居候に付各地方の販賣業者諸君に及び貸本を營業とせられる諸君は多少に拘らず御注文被下度候  
△御賣目録御入用の諸君は郵券御送御送り被下度候其節には販賣用としてなるや又は貸本用としてなるや御書き添へを願ふ  
△樋口隆文館は毎月三四種宛は缺さず新版發行致べく候  
△樋口隆文館は東京版でも大阪版でも小説なれば何でも一切取り揃へ居候  
△樋口隆文館の所在地は大阪三休橋邊谷南入西側に御座候、振替番號は大坂八七九七、御注文の節には代金郵送料共總て御前送相成度候着金後にあらざれば一切送本仕らず候大部數の御注文にて汽車便又は汽船便其他成丈け早く届く方法を以て御送品可致候

不許複製

【附奥士勇の代二孝忠】

購讀者 東海亭金龍  
大坂市南區段谷仲之町  
二百二十四番屋敷  
發行者 樋口源次郎  
大坂市西區立賣堀南通  
二丁目五十四番地  
印刷者 蒲田徳之助

發賣元

大坂市南區三休橋  
段谷南入西側

樋口隆文館

(振替口座大坂八七九七)

渡邊默禪君作 長谷川小信君畫

磯の松風

密畫挿入頗美本  
全二冊 既刊 各一冊 四十五錢宛  
送料 二冊二付八錢

本書は新聞でも大好評、又劇に演じても非常の大當を取つた頗る面白い悲劇的小説であつて主人公は、華族の落胤で高柳欽一といふ帝國大學の學生、それへ命もと打ち込んだのが、下宿屋小町と評判の美人で年は十八お峯と云ふ尤物、その又お峯に年にも耻ぢず、眼も鼻も無く屬魂と惚たのが、高倉といふ高利貸の好色老爺、まだ其他に、藝妓、悪書生、俠客、惡車夫、といふやうな、邪正善惡種々雜多の人物が、卍字柄繪と入り亂れて、個々有趣味の大活動をするといふ、至極面白い小説でござる。

(他に同名の異本あり御買求めの際は樋口隆文館發行の物と御指定ありたし)



神戸又新日報記者

如鬼坊君作

歌川國松君畫

初編

鱗與之助

木版極彩色艶麗

美人畫挿入

各一册

實價 四十五錢

次編

乳守のお仙

終編

池沼鯉之助

三册同時に御注文の方は内地に  
限り送料不要

本篇は千里見透しといふ、摩訶幻妙、神奇不可思議の怪術を行ひし、鱗與之助の面白き一代記にして、事の發端は、古來神話的の怪傳説ある、印旛沼なる壺ヶ淵の怪物をば獲殺したるよりはじまり、續いて起る有興味的事件には、あはれ無残や花ならば、春まだ浅き未開の紅ともいふべき、容姿愛すべき佳麗の一處女が、山中無住の廢寺に於て、兇猛野獸の如き多數の強賊のために脅され、落花狼籍危機關一髪といふ、至極キワドイ艶場もある、編中に活動する人物には、勇士あり、孝子あり、義人あり、俠客あり、苦節の美人あり、亂倫の妖婦あり、起伏千變波瀾萬態、各有趣味の大活動をする、頗る面白き多人數向の小説にして、其文章は一種平易なる言文一致体なれば、講談物のみを讀んで居られる人にもわかる至極通俗な面白き讀物なり。

渡邊默禪君作

歌川國松君畫

# 櫻井一策

全貳册

實價各一册

四十五錢宛

木版數十度摺

美人畫挿入

本書は、憂國慨世の壯士櫻井一策と、其の情婦なる柳橋の名妓小判のお春との間に纏綿せる情話と、彼等兩人の多艱多恨にして波瀾曲折多かりし其半世の行徑を描けるものにして、作者は御馴染の默禪先生、畫も御馴染の國松畫伯が濃艶鮮麗の彩筆になれる、木版數十度摺の美人畫を添へたれば、讀で面白く見ても心地好き、花も實もある無比の好讀物なり。



渡邊默禪君作

井川洗厓君畫

改正實價

# 每日電報 掲載小説 風流菩薩

各一册五十錢宛

全貳册既刊

本書は東京毎日電報紙上に連載して、讀者數十萬の心血を衝動せしめし頗面白き小説にして作者は御馴染の默禪先生にして、挿畫は井川洗厓君が、優艶鮮麗の彩筆になれり、實にやこれ文装双美無比の好讀物なり、久く賣切絶版中の處、今、回増刷出來せり、又々賣切れとならぬ中に、早々買ひたまへと御勸めまをす。

(本書御注文の節は大阪樋口隆文館發行の物と御指定ありたし)



L/6  
809

每日遊覽

# 風流菩薩

文正堂

全一冊

定價

...

...

...

...



終

